

# 被災者支援活動ニュース

## “途方にくれている” “税金の無駄遣いやめて” 「訪問・聴きとり」アンケートに悲痛な声つぎつき

18日につづき、20日、二回目となる「訪問・聴きとり」のアンケート活動がおこなわれました。この日は、午前、午後のべ4組が行動し、約20軒訪問。今回も、「なにしにきた」という家は一軒もなく「やっとローンを払い終えたばかりなのに、今回の地震。途方にくれている」とか、「墓の修繕は二年先といわれた」など、悲痛な声や悩みが多数よせられました。

ボランティアからは、「震災直後とはちがった実態を感じた」「こちらから出向き、“どうですか”と聞く活動が重要」といった感想がよせられました。この日のアンケートから被災者の声など紹介します。



被災状況を聞く、佐藤博英市議(中) = 20日

れて、そんな状況でない」

●「避難所最初寒かった。夜、乾パン。朝、おにぎり、コップに水。歯の悪い者食べられない。」

●「震災ゴミの仮置き場が20日で閉鎖と聴いて、屋根の修理はこれからで、こわれた瓦やコンクリどこにもっていけというのか。税金払っているのになんだと市役所に腹がたって電話した」



被災状況を聞く、増井久美湯梨浜町議(左) = 20日

●「雪持ちで瓦がもっている。高い屋根のほうは上にあがれず不明。ドアが開かない。見た目より中がひどい。屋根(の修理)にはなかなか順番がこない。墓では200万円という話も聞いた。赤い紙のところで引っ越した家も3軒ある」

●「数日前に罹災証明を申請した。墓はだめなのか。ブロック塀は倒れた。対応早くしてほしい」

●「『カギをかけて』と放送するけど、戸自体が壊



被災状況を聞く、塚田成幸東・中部地区委員長・衆院鳥取1区候補(中)と伊藤幾子市議(右) = 20日

●「(宗教)法人だから支援がないと方丈(ほうじょう)はおっしゃるが、のちのちのことから、行政は、せめて被害状況くらい見に来てほしい」

●「被災者のためにもっと税金使って欲しい。東京オリンピック、リニア新幹線、税金を何兆円も使うようなことはやめてほしい」

●「ローンを払い終えたばかりなのに、今回の震災。68歳で、もうローンなど無理。途方にくれている」

**次回は11月25日(金)午前9時と午後1時からの二回おこないます。**